

2021年度「障害者週間」関連イベント

# 破壊からの復活



#片麻痺フォトグラファー

## 川名マッキー写真展

©川名マッキー

2021年 12月3日(金)～9日(木)

10:00～16:00 ※第1会場のみ7日(火)は休館日

**入場料無料**

第1会場 障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡8階「特設展示会場」

第2会場 ウイング上大岡2階「ガーデンコート」

※2つの会場での展示作品は異なります

主催：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡）





## プロフィール

かわな・まっきー。横浜出身・在住のグラフィックデザイナー&フォトグラファー。脳卒中の後遺症で右半身の片麻痺、および構音障害による発音不備が残る。半年の入院を経て、横浜市総合リハビリテーションセンターに入所し、3ヶ月後の2021年4月に退所。退所してすぐに写真展「破壊と創造」を開催し、多くの来場者で賑わう。片麻痺になった現在、電動車椅子に乗って無理のない範囲で仕事を再開している。ひとを撮ること、ねこを撮ること、野鳥を撮ることが好きなAB型。今回の写真展「破壊からの復活」は、発症後に撮影した写真を中心に展示している。

ポスター、広告、雑誌、CD・DVDジャケットを中心とした商業出版物の企画、デザイン、製作、撮影を幅広く手掛けていた。tvk(テレビ神奈川)の音楽情報バラエティ「sakusaku」のキャラクター(現在は放送終了)、パペットの白井ヴィンセントも作品のひとつ。



## 2020年6月、脳卒中で倒れて多くのものを失いました。

半年の入院と4カ月のリハビリ、さらに半年近くを経てカメラマンに復活しつつあります。いつからか、自分の体のことを嘆くのはやめました。脳卒中で倒れたことは残念だけど、この一年半でわかったこともたくさんあります。ある人に言われました。「もう以前の自分には戻れない。だったら前を向いて行こう」と。僕のこれまでの人生に足りなかったもの、気付かなかったもの、逆に新たに手にいれたもの。むしろ今の状況になって良かったのかもしれないと、笑って過ごしています。「昨日より今日はこれができた!」と、毎日嬉しい気持ちです。

この写真展は、今まで僕を支えてくれた多くの方や、同じ病气や後遺症で苦しんでいる方に見てもらいたい。入院中に「カメラを持ちたい」という想いで撮った、いつ出られるかも分からない病院の景色。それに加えて退院前後に撮った「わずかな希望」が見える作品、そして今の自分を見つめた作品を展示します。左手でカメラを持ち、左指でリリースしています。

# 川名マッキー写真展 破壊からの復活

## 展示会場のご案内

日時 2021年12月3日(金)～9日(木) 10:00～16:00 入場料無料

会場 [第1会場]  
障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡8階「特設展示会場」  
(ゆめおおおかオフィスタワー8階)

[第2会場]  
ウイング上大岡2階「ガーデンコート」  
(京急線、横浜市営地下鉄線「上大岡駅」直結)

※2会場とも同時開催です。展示作品はそれぞれ異なります。

※第1会場は、12月7日(火)は休館日のため休みとなります。ご注意ください。

※第2会場は、ウイング上大岡の営業時間内の展示となります。

## 「障害者週間」について

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、それまで12月9日を「障害者の日」と定めていた規定から、12月3日から12月9日までを「障害者週間」と定める規定へと改められました。

展示会に関するお問い合わせ先

障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡 管理運営課 文化担当

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー7階

電話 045-840-2151 FAX 045-840-2157